



兵庫労働局発表  
平成 25 年 8 月 29 日

[照会先]  
兵庫労働局 労働基準部 健康課  
課 長 瓜生 裕一  
主任労働衛生専門官 西川 康人  
(TEL) 078-367-9153  
(FAX) 078-367-9166

報道関係者 各位

### 平成 25 年度全国労働衛生週間の実施について

平成 25 年度全国労働衛生週間は、10 月 1 日から 10 月 7 日までの間の本週間（準備期間：平成 25 年 9 月 1 日～9 月 30 日）に

「健康管理 進める 広げる 職場から」

をスローガンとして展開されます。

1 全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高めるとともに、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することなどを目的に、昭和 25 年から毎年実施しているもので、今年で 64 回目を迎えます。

#### 2 兵庫労働局における実施事項

##### ア 9 月を「職場の健康診断実施強化月間」として集中的取組

労働安全衛生法に基づく事業者による健康診断及び事後措置の実施を改めて徹底するため、集中的な指導を実施し、健診受診率の向上を図ります。（別添 1 「職場の健康診断実施強化月間」）

##### イ メンタルヘルス対策の推進

メンタルヘルス支援センター、地域産業保健センターとの緊密な連携を図りながら、各事業場においてメンタルヘルス対策の取組が行われ、労働者がメンタルヘルスケアを受けられるよう指導を行っていますが（別添 2 「職場におけるメンタルヘルス対策」）、独立行政法人労働者健康福祉機構兵庫産業保健推進センター、労働災害防止

団体等と連携して、メンタルヘルス対策についての研修会を開催する等周知・啓発に努めます。（別添5「平成25年度労働衛生週間における周知・啓発活動」）

#### ウ 「職場における腰痛予防セミナー」の開催

職場での腰痛は業務上疾病の過半数を占めています。近年社会福祉施設等において腰痛が多く発生している状況を受け、平成25年6月に「職場における腰痛予防対策指針」が改正されました。労働衛生週間の10月2日（水）、「職場における腰痛予防セミナー」を開催します。（別添3「職場における腰痛予防セミナー」）

#### エ 9月を「粉じん障害防止総合対策推進強化月間」として集中的取組

兵庫労働局においては、「兵庫第8次粉じん障害防止総合対策5か年計画」（平成25年～29年）を策定し、粉じん障害防止対策の取組を推進していますが、対象事業場への集中的な指導やセミナーの開催等を実施し、粉じん障害防止対策の一層の徹底を図ります。（別添4「粉じん障害防止総合対策推進強化月間」、別添5「平成25年度労働衛生週間における周知・啓発活動」）

#### オ 労働衛生講習会等を通じた周知・啓発

労働者の健康管理や職場環境改善等についての労働衛生講習会等を兵庫産業保健推進センターや地区労働基準協会等と連携して開催します。（別添5「平成25年度労働衛生週間における周知・啓発活動」）

## 別添1 職場の健康診断実施強化月間

### 日本再興戦略

(平成25年6月14日閣議決定)

- ・テーマの一つとして「国民の「健康寿命」の延伸」
- ・疾病の予防・早期発見を図ることが重要
- ・健診受診率の向上が目標として掲げられている

### 職場の健康診断実施強化月間

(9月、労働衛生週間準備期間)

労働安全衛生法に基づく事業者による健康診断及び事後措置の実施の再徹底のために集中的・重点的な指導等を実施

《労働安全衛生法に基づく事業者による健康診断及び事後措置等イメージ図》

#### ○ 定期健康診断の確実な実施(法第66条第1項)

小規模事業場での実施率が低い

10人～29人⇒84.5%

30人～49人⇒95.7%

「平成22年労働安全衛生基本調査(厚生労働省)」

#### ○ 定期健康診断結果に基づく事後措置等

#### ○ 健康診断の結果、異常の所見のあった労働者について医師からの意見聴取(法第66条の4)

・事業者は、医師の意見を勘案して作業の転換、労働時間の短縮等就業上の措置(法第66条の5)

#### 地域産業保健センターの利用勧奨

- ー 労働者50人未満の小規模事業場の方が対象 ー
- ・県下10地域に地域産業保健センター
- ・小規模事業場の事業者や、そこで働く人を対象に産業保健サービスを無料で提供
  - ア 健康診断結果に基づく医師からの意見聴取
  - イ 脳・心臓疾患のリスクが高い労働者に対する保健指導
  - ウ メンタルヘルス不調の労働者に対する相談・指導
  - エ 長時間労働者に対する面接指導

#### ○ 医師又は保健師による保健指導の実施(法第66条の7) 努力義務

保健指導: 日常生活での指導、健康管理に関する情報の提供、再検査又は精密検査の受診の勧奨、医療機関で治療を受けることの勧奨等

## 別添2 職場におけるメンタルヘルス対策

《第12次労働災害防止計画における目標》

平成29年までにメンタルヘルス対策に取り組んでいる事業場の割合を80%以上にする

《職場のメンタルヘルスの現状》

- 平成24年中における自殺者の総数は27,858人で、自殺者のうち26.6%が勤労者で、「勤務問題」を自殺の原因とする者は約2,400人
- 精神障害等による労災認定件数は高い水準で推移  
平成23年度325件(兵庫:19件)から平成24年度475件(兵庫:24件)に増加
- メンタルヘルスに取り組んでいる事業場の割合は43.6%(平成23年労働安全衛生特別調査)

《メンタルヘルス対策の推進》

(事業場における基本的取組事項)

- ・衛生委員会での調査審議
- ・事業場内体制の整備
- ・教育研修の実施
- ・職場環境等の把握と改善
- ・不調者の早期発見・適切な対応
- ・職場復帰支援

#### I 労働局・労働基準監督署による事業場に対する指導等

#### II メンタルヘルス対策支援センター

- ・事業者、産業保健担当者等からの相談対応
- ・個別事業場への訪問指導の実施
- ・職場の管理監督者等に対する教育研修の実施
- ・職場復帰支援プログラムの作成支援

#### III 地域産業保健センター

- ・メンタルヘルス不調についての相談

#### IV 産業保健推進センター

- ・メンタルヘルス対策についての周知啓発

#### V 労災病院勤労者予防医療センター

- ・勤労者こころの電話相談

(「労働者の心の健康の保持増進のための指針」(平成18年公示第3号)に基づく取組の促進)

## 別添3 「職場における腰痛予防セミナー」

### ○ 職場における腰痛予防セミナー

定員 200名 参加無料  
 日時 平成25年10月2日(水)13:30~16:30  
 場所 神戸クリスタルタワー  
 (神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー3階)

#### 《プログラム》

#### ○ 開会挨拶

兵庫労働局労働基準部長

#### ○ 説明

「職場における腰痛予防対策指針の改訂の概要について」  
 兵庫労働局労働基準部健康課

#### ○ 講演1

「あなたの腰痛イメージをリセットしてみませんか？ 新たな視点に立った腰痛の捉え方とアプローチ」  
 関東労災病院勤労者筋・骨格系疾患研究センター長 松平 浩 氏

#### ○ 講演2

「腰痛予防のこれだけ体操」  
 関西労災病院勤労者予防医療センター主任理学療法士 高野 賢一郎 氏

#### ○ 主催

兵庫労働局  
 兵庫産業保健推進センター  
 兵庫労働基準連合会

#### ○ 申込先

兵庫産業保健推進センター(078-230-0283)  
 又は  
 兵庫労働基準連合会(078-231-6903)

## 別添4 粉じん障害防止総合対策推進強化月間

### 兵庫第8次粉じん障害防止総合対策5か年計画(平成25年~29年)

- 昭和56年以降、7次にわたる総合対策の取組により、新規有所見者は大幅に減少したが、依然としてアーク溶接、金属研磨作業等で新規有所見者が発生
- 引き続き、「兵庫第8次粉じん障害防止総合対策5か年計画」を策定し、取組を推進
- 取組の重点事項
  - ① アーク溶接作業と岩石等の裁断等作業に係る粉じん障害防止対策
  - ② 金属等の研磨作業に係る粉じん障害防止対策
  - ③ ずい道等建設工事における粉じん障害防止対策
  - ④ 離職後の健康管理

#### 「粉じん障害防止総合対策推進強化月間」(9月)

- ・団体等、事業場に対する《関係団体等、事業場における実施事項》の実施についての呼びかけ
- ・集中的な指導の実施及びセミナーの開催等周知啓発の実施

#### 《関係団体等、事業場における実施事項》

	関係団体等	事業場
基本的事項	・会員事業場に対する「講ずべき措置」等の周知、自主点検実施の援助 ・講習会、セミナーの開催 ・月間中のパトロール実施	・取組の自主点検の実施 ・「粉じん対策の日」の設定 ・じん肺健診の実施 ・健康管理教育、特別教育の実施
アーク溶接作業、岩石等の裁断作業	・24年4月施行の改正粉じん則等に基づく措置の周知 ・セミナー等の実施 ・特別教育等での指導	・アーク溶接作業が粉じん作業であり、有効な呼吸用保護具の使用が必要であることの掲示 ・局排、プッシュプル型換気装置の設置 ・呼吸用保護具の着用徹底
金属等の研磨作業	・セミナー等の実施 ・特別教育等での指導	・局排、プッシュプル型換気装置の設置 ・局排等の検査、点検の実施 ・作業環境測定の実施 ・呼吸用保護具の着用徹底 ・たい積粉じん対策の推進
ずい道等建設工事	・「ずい道建設工事における粉じん対策に関するガイドライン」の周知 ・「新版ずい道等建設工事における換気技術指針」の周知 ・特別教育の受講勧奨	・「ガイドライン」に基づく対策の徹底 ・粉じん発生源に係る措置の実施 ・換気装置等による換気の実施等 ・粉じん濃度測定の実施 ・呼吸用保護具(電動ファン付呼吸用保護具等)の使用
離職後の健康管理	・健康管理手帳制度の周知	・じん肺有所見者への健康管理教育 ・離職予定者への健康管理手帳申請方法の周知、ガイドブックの配付

## 別添5 平成25年度労働衛生週間における周知・啓発活動

	開催日時	テーマ	主催者等	開催場所
1	平成25年9月6日(金)	職場のメンタルヘルス対策	・加古川労働基準監督署 ・兵庫県加古川、明石健康福祉事務所 ・加古川労働基準協会	明石市生涯学習センター
2	平成25年9月10日(火)	労働衛生全般	・尼崎労働基準監督署 ・尼崎労働基準協会	尼崎商工会議所
3	平成25年9月10日(火)	職場のメンタルヘルス対策	・姫路労働基準監督署 ・兵庫県龍野健康福祉事務所	兵庫県龍野庁舎別館
4	平成25年9月10日(火)	健康診断結果の有所見率の改善	・姫路労働基準監督署 ・兵庫産業保健推進センター ・姫路労働基準協会	姫路商工会議所
5	平成25年9月17日(火)	職場のメンタルヘルス対策	・伊丹労働基準監督署 ・兵庫産業保健推進センター ・伊丹労働基準協会	伊丹市産業・情報センター
6	平成25年9月19日(木)	粉じん障害防止対策	・姫路労働基準監督署 ・兵庫産業保健推進センター ・姫路労働基準協会	姫路商工会議所
7	平成25年9月26日(木)	粉じん障害防止対策	・加古川労働基準監督署 ・加古川労働基準協会	加古川市立勤労会館
8	平成25年9月27日(金)	労働衛生全般	・西脇労働基準監督署 ・兵庫県加東、丹波健康福祉事務所 ・兵庫産業保健推進センター ・西脇労働基準協会	西脇地域職業訓練センター
9	平成25年10月(日程調整中)	労働衛生全般	・但馬労働基準監督署 ・但馬労働基準協会	じばさんTAJIMA
10	平成25年10月18日(金)	職場のメンタルヘルス対策	・姫路労働基準監督署 ・兵庫産業保健推進センター ・姫路労働基準協会	姫路商工会議所

# 第64回 全国労働衛生週間

10月1日～7日（準備期間：9月1日～30日）

「全国労働衛生週間」は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高め、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的に毎年実施しています。

10月1日～7日を本週間、9月1日～30日を準備期間として、各職場での安全衛生についての見回りやスローガン掲示、労働衛生に関する講習会・見学会の開催など、さまざまな取組を展開します。

<スローガン>

## 健康管理を進める 広げる 職場から

平成25年度のスローガンは、近年、過重労働による健康障害やメンタルヘルスの不調などの健康問題が重要な課題となっていることから、労働者自身や管理監督者、産業保健スタッフが一丸となって健康管理を進め、労働者の心とからだの健康が確保された職場の実現を目指すことを表したものです。324点の応募作品の中から決定しました。

### 「全国労働衛生週間」に実施する事項

- 事業者、総括安全衛生管理者による職場巡視
- 労働衛生旗の掲揚、スローガンなどの掲示
- 労働衛生に関する優良職場、功績者などの表彰
- 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症などによる事故・緊急時の災害を想定した訓練などの実施
- 労働衛生に関する講習会・見学会などの開催、作文・写真・標語などの掲示、その他労働衛生の意識高揚のための行事などの実施

### 「準備期間」に実施する事項

日ごろの労働衛生活動の総点検を行い、労働衛生水準の向上を図りましょう。

- 健康管理の推進
- 労働者の心の健康の保持増進のための指針に基づくメンタルヘルス対策の推進
- 過重労働による健康障害防止のための総合対策の推進
- 労働衛生管理体制の確立と労働安全衛生マネジメントシステムの確立を始めとした労働衛生管理活動の活性化
- 作業環境管理の推進
- 作業管理の推進
- 労働衛生教育の推進
- 職場における受動喫煙防止対策の推進
- 粉じん障害防止対策の徹底
- 職場における腰痛予防対策指針による腰痛の予防対策の推進
- 熱中症予防対策の徹底
- 電離放射線障害防止対策の徹底
- 騒音障害防止のためのガイドラインに基づく騒音障害防止対策の徹底
- 振動障害総合対策要綱に基づく振動障害防止対策の徹底
- VDT作業における労働衛生管理のためのガイドラインにおける労働衛生管理対策の推進
- 化学物質の管理の推進
- 石綿障害予防対策の徹底
- 酸素欠乏症などの防止対策の推進
- 心とからだの健康づくりの継続的、計画的な実施のための体制の実施・充実
- 快適職場指針に基づく快適な職場環境の形成と推進
- 職場におけるウイルス性肝炎に関する理解と取組の推進
- 職場におけるHIV/エイズに関する理解と取組の推進
- 東日本大震災に伴う復旧工事における労働衛生対策の推進

主 唱 厚生労働省、中央労働災害防止協会

協 賛 建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、鉱業労働災害防止協会



厚生労働省

# 主な取組事項・支援体制

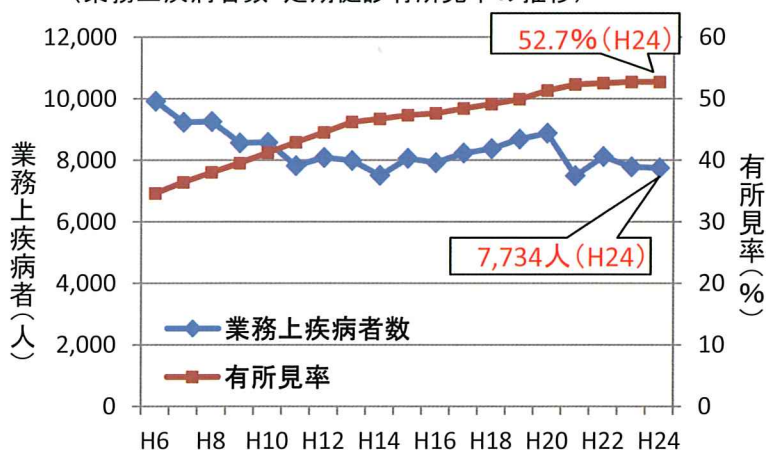
## 職場の健康診断実施 強化月間

健康診断の実施は事業者の義務です。

9月を「職場の健康診断実施 強化月間」として、健康診断の実施の徹底、健診結果に基づく保健指導など、労働者の健康管理を進めてください。

### 労働衛生の現状

(業務上疾病者数・定期健診有所見率の推移)



※各年度の業務上疾病発生状況、定期健康診断結果報告などに関する統計結果を公表しています。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei11/index.html>

## メンタルヘルス対策支援センター

メンタルヘルス対策に関する事業者の取組を支援するために、都道府県にメンタルヘルス対策支援センターを設置しています。

<http://www.rofuku.go.jp/yobo/mental/tabid/114/Default.aspx>

## こころの耳

厚生労働省では、働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」を開設し、職場におけるメンタルヘルス対策の促進を図っています。

<http://kokoro.mhlw.go.jp/>

携帯サイト  
(QRコード)



## 第12次労働災害防止計画

厚生労働省では、産業構造や社会情勢の変化などに対応し、労働者の安全と健康を確保するため、平成25年～29年の5年間を対象とする「第12次労働災害防止計画」を4月にスタートさせました。

全体目標として、平成29年までに、労働災害による死亡者数、死傷者数（休業4日以上）とも15%（平成24年比）以上減少させることを掲げました。

また、「重点とする健康確保・職業性疾病対策」として、メンタルヘルス対策、過重労働対策、化学物質による健康障害防止対策、腰痛・熱中症予防対策、受動喫煙防止対策を掲げ、個別に期間中の目標を設定しています。

## 産業保健推進センター・地域産業保健センター

### ■産業保健推進センター

産業医などの産業保健スタッフへの専門的相談、研修などを実施しています。

### ■地域産業保健センター

労働者数が50人未満の小規模事業場で働く人などを対象に、健康相談の実施などの産業保健サービスを提供しています。

## 受動喫煙防止対策に関する支援事業

職場の受動喫煙防止に取り組む事業者を支援するために、喫煙室の設置に必要な経費の助成などの支援事業を行っています。今年度から助成金制度を拡充しています。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/jigyousya/kitsuenboushi/>

## 第8次粉じん障害防止総合対策

今年度から平成29年度までの5年間、第8次粉じん障害防止総合対策を推進します。

## 腰痛予防対策

休業4日以上の職業性疾病のうち、6割を占める職場での腰痛。社会福祉施設での腰痛発生件数が大幅に増加しているため、今年度から指針を改定し、適用範囲を福祉・医療分野などに広げるとともに、腰に負担の少ない介護介助法を加えました。  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/youtsuushishin.html>

## 熱中症予防対策の推進

9月も気温が高いことが予想されるため、通知（5月21日）に基づいた、職場での熱中症対策を推進してください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/h25necchuus hou.html>

## 職場における化学物質管理について

化学物質を取り扱う事業場では、基本情報であるSDS（安全データシート）を入手し、活用することが必要です。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeisei03.html>

# 職場における腰痛予防セミナー

事業所の事業主・管理監督職・健康管理担当者、産業医、職域保健関係者のみなさまへ

腰痛で悩まれている方は多いと思います。このセミナーでは、腰痛の研究をされて腰痛対策の指南書もだされておられる医師の松平先生と、産業保健分野で活動されておられる理学療法士の高野先生が講演されます。腰痛予防の知識を日常生活に取り入れて、すこしでも腰の負担を減らしてみませんか。

2013年10月2日(水) 定員200名・参加無料

神戸クリスタルホールにて 13:30~16:30  
(神戸市中央区東川崎町1-1-3神戸クリスタルタワー3階)

## 【講演プログラム】

### 開会

### 開会挨拶

兵庫労働局 労働基準部長 なかしま みちあき  
中島 理章

### 説明

「職場における腰痛予防対策指針の改訂の概要等について」

兵庫労働局 労働基準部 健康課 担当官

### 講演1

「あなたの腰痛イメージをリセットしてみませんか 新たな視点に立った腰痛の捉え方とアプローチ」

関東労災病院 勤労者筋・骨格系疾患研究センター長 まつたけいろう  
松平 浩氏

### 休憩

### 講演2

「腰痛予防のこれだけ体操」

関西労災病院 勤労者予防医療センター 主任理学療法士 たかの けんいちろう  
高野 賢一郎氏

### 閉会



## 松平 浩氏

関東労災病院

勤労者筋・骨格系疾患研究センター長

### 【プロフィール】

1992年順天堂大学医学部を卒業後、東京大学医学部整形外科教室に入局。1998年、東京大学医学部附属病院整形外科の腰椎・腰痛グループチーフに就任。その後、同大学にて博士号を取得。2008年英国サウサンプトン大学疫学リサーチセンターに留学後、2009年より現職。労働者健康福祉機構本部研究ディレクターを兼務。2012年度「運動器の10年」世界運動・普及啓発推進事業奨励賞受賞。

### 【所属学会等】

医学博士/日本整形外科学会 整形外科認定医・リウマチ医・脊椎・脊髄病医/日本脊椎脊髄病学会 指導医/日本体育協会 スポーツ医/日本腰痛学会 評議員/日本職業災害医学会 評議員

### 【出版】

「ホントの腰痛対策を知ってみませんか」

「腰痛持ち」をやめる本

「新しい腰痛対策 Q&A21-非特異的腰痛のニューコンセプトと職場での予防法-」

## 高野 賢一郎氏

関西労災病院

勤労者予防医療センター 主任理学療法士

### 【プロフィール】

1984年九州リハビリテーション大学卒業。同年、理学療法士として関西労災病院リハビリテーション診療科に就職。2004年に関西労災病院 勤労者予防医療センターに移籍。産業保健分野の理学療法士として活動。現在に至る。

### 【所属学会等】

日本理学療法士協会/日本職業災害医学会/産業保健人間工学会/産業理学療法研究会/阪神アスレチックリハビリテーション研究会/予防利用ネットワーク

### 【出版】

VDT障害予防のための体操プログラム「プリベンション」(DVD)(リーフレット)

お問合わせ・お申込みは裏面へ！



# 申込み方法

この用紙を

申込書にご記入の上、平成25年9月27日（金）までに以下のいずれかの機関にFAXしてください。

- 兵庫産業保健推進センター FAX：078-230-0284
- 兵庫労働基準連合会 FAX：078-261-3305



\*定員（200名）になり次第お申し込みを締め切らせていただきます。

## 《H25年度》10/2 職場における腰痛予防セミナー参加申込書

事業場名	
参加者氏名1	ふりかな
参加者氏名2	ふりかな
参加者氏名3	ふりかな
連絡先	〒  (TEL： ) (FAX： )
担当業務に☑を入れてください	<input type="checkbox"/> 産業医 <input type="checkbox"/> 看護職 <input type="checkbox"/> 衛生管理者 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 人事労務担当者 <input type="checkbox"/> その他 ( )

このセミナーについてお問合せは…

兵庫労働局 労働基準部 健康課  
☎078-367-9153 まで

ご参加お待ちしております！

